

**(議事要旨)**

**○社会資本総合整備計画『地域の交流と経済活動の活性化を支えるみちづくり』  
の事後評価**

**●委員**

国道303号(追分工区)について、便益効果が非常に高いので、このまま進めていただきたい。令和3年度も事業があるので、事故がないように引き続き継続してもらいたい。

**●委員**

用地取得の遅延について、特別な手立ては何かしているのか？

**●道路課**

用地取得について、時間は要しているが進んでいる。

ちなみに、資料1の14ページの右下に事業数と短縮時間の関係を示したグラフがあるが、11番目の事業が特に短縮時間の大きい事業である。こちらの事業については、用地取得の遅延のため事業展開の出だしが半年ほど遅れたが、現在は供用している。現時点での所要時間合計の短縮時間を計算すると、0.46時間となる。

**●委員**

資料1の12ページについて、事業が滋賀県の南部の地域に集中しており、北部の地域には事業があまりないように思われる。アウトカム指標である「冬季路面事故件数を10%縮減」について、どの事業が影響しているのか？

**●道路課**

資料1の12ページに示している事業は道路改築事業のみであり、主に拠点間の所要時間短縮に寄与する事業である。

冬季路面事故件数の影響する事業としては、雪寒地域(大津市北部、高島市、長浜市、米原市、彦根市、多賀町)の各路線における除雪事業が挙げられる。

**●委員**

「路面事故」とは何か？

**●道路課**

路面が凍結・積雪の状態が発生している事故である。

●委員

資料1の構成について、15ページから30ページまでが国道303号（追分工区）の説明であり、それ以外のページは国道303号（追分工区）を含めた全体の話という理解でよいか？

●道路課

そのとおり。ちなみに、国道303号（追分工区）は現在も事業継続中であり、完了した事業としては取り扱っていない。

●委員

9ページで紹介している間田長浜線（観音坂工区）の事業は、完了した事業の一例ということか？

●道路課

そのとおり。

●委員

国道303号（追分工区）の費用便益比については2.9と良好だが、これを以てその他の事業も含めた事業評価のデータとして使うことは妥当な判断なのか？

●道路課

国道303号（追分工区）は、主要な事業として中間評価時に選定されたため費用便益比を算出しており、すべての事業で費用便益比を算出しているわけではない。

整備計画全体に対する評価は、事業の進捗状況や事業効果の発現状況、評価指標の目標値の実現状況で整理している。

●委員

除雪ドーザの配置について、北部の地域には重機が多く配備されているが、南部の地域には重機の配備がない地域もある。

想定外の降雪に備えるために、重機の配備を充実された方がよいと思う。

●道路課

ご指摘はごもっともである。

しかしながら、重機の所有には購入費だけでなく維持費も発生する。

重機の配備について、南北で応援体制をとり、雪の少ない地域から雪の多い地域へ重機を持っていくなど、コストを抑えながら道路の安全確保に努めている。

なお、南部地域の雪の降り方が今後変わってきた場合は、重機の配備について別途検討していく必要があると考えている。

●委員

また、融雪剤の散布について、雪が降らないと思われる場合でも散布していただき、想定外の事象に早期に対処してほしい。

(以上)